

いま、市民の皆さんが社会教育に対して、どのような意識を持ち、どんな評価や要望を持っているかを知るため、昨年の六月末から七月初めにかけて「社会教育意識調査」を実施。その結果が、このほどまとまりました。それによると、皆さんの社会教育への関心は高くなっています。実践はどうか……ということがわかり、市ではこの結果を検討し、今後の社会教育活動に十分に反映して行く考えです。調査にご協力くださいました皆さん、ありがとうございます。



# 学習意欲かきたてる実践活動を

## 社会教育意識調査から

性別	男 43.9%	女 45.5%	不明 10.6%		
年齢階層別	A階層 20.7%	B階層 21.7%	C階層 27.1%	D階層 17.3%	不明階層 13.2%

回答者数 1,231人

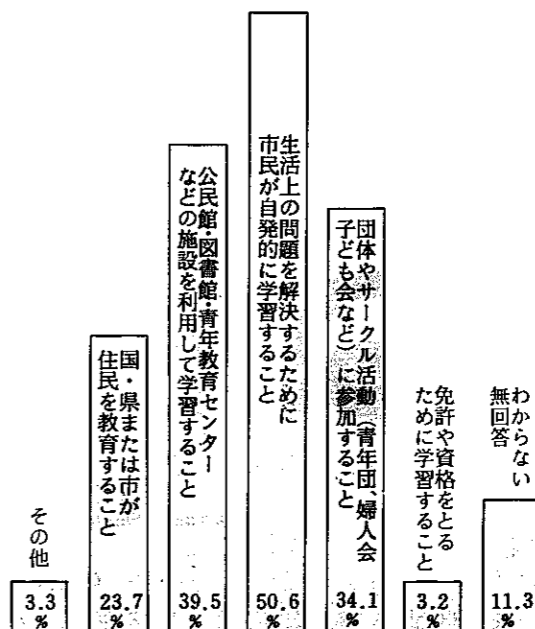
年齢階層区分  
 A階層=15~19歳 C階層=30~49歳  
 B階層=20~29歳 D階層=50歳以上

調査結果の前に、回答を寄せられた方の構成にふれてみましょう。回答者千二百三十一人の性別、年齢階層別のうちわけは、次のグラフをごらんください。

### 調査のあらまし

調査期間 54年6月25日~7月7日  
 調査対象 15歳以上の市民を4つの年齢層に分け、住民基本台帳や選挙人名簿の中から各層にわたり等間隔で抽出。  
 調査人員 1,368人  
 回収数 1,231人  
 回収率 90%  
 調査方法 配票調査法

### 社会教育とは どのようなことだとお考えですか



### 社会教育とは

はじめに、皆さんが社会教育とはどのようなことだと考えている

### 市民が自発的に学習

かをお聞きしました。結果は「生活上の問題を解決するために、市民が自発的に学習すること」、「公民館、青年教育センターなどの施設を利用して学習すること」、「団体やサークル活動に参加すること」と答えた人が多かったことから、社会教育についての認識、関心が全般的に高まってきているといえるでしょう。

### 社会教育環境は

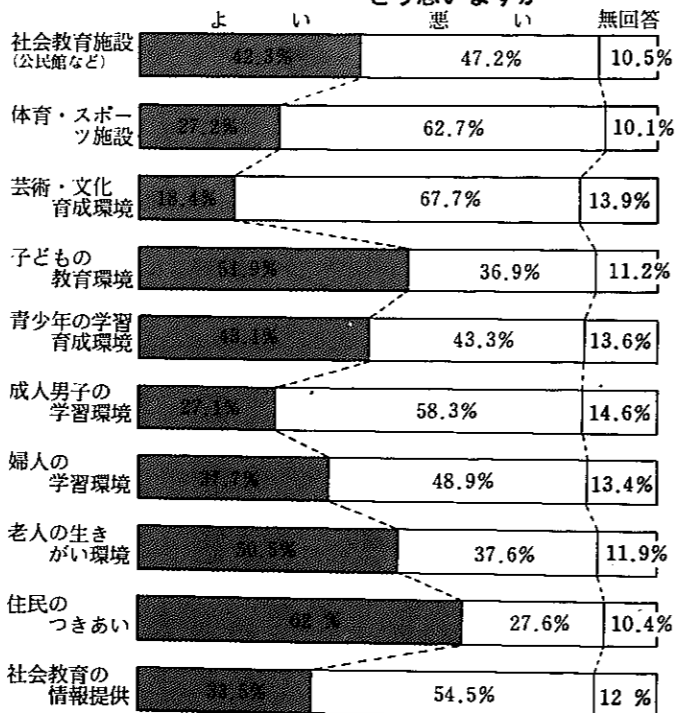
社会教育環境で「よい」と答えた人が多かったのは、「住民のつき

### 成人の学習環境の遅れを指摘

あい、「子どもの教育環境」「老人の生きがい環境」。逆に「悪い」と答えた人が多かったのは「芸術・文化育成環境」「体育・スポーツ施設」「成人男子の学習環境」「社会教育の情報提供」「婦人の学習環境」「社会教育施設」の順になっています。「青少年の学習育成環境」は同率でした。年齢階層別の傾向も、全体の傾向とほぼ同じになっています。

ここでは、隣人とのふれあいを大切にしている市民性を高く評価する一方、成人の学習環境整備の遅れを指摘しています。

### 白根市の社会教育環境について どう思いますか

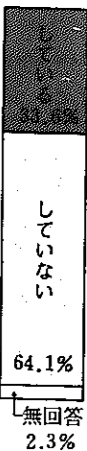


### 団体・グループ活動への参加は

団体やグループ、サークルに「参加している」と答えた人は、三三・六%と三人に一人の割合になっています。年齢階層別で見ると、

### 低い若者の参加率

白根市内の団体やグループ、サークルに参加していますか



C階層の参加率が四三・七%と一番多くなっています。しかし、A階層の参加率が九%と低く、低くなっていることから、今後は、この階層に着目した参加を促す手が必要といえます。

参加している団体の内訳は、スポーツ・レクリエーション関係団体が二五・九%と一番多く、次いで婦人会二二%、老人クラブ一三%・PTA一一・一%の順となり、芸術・文化関係団体が四・一%と一番低くなっています。

参加のきっかけを見ると、「自分からすすんで」という積極派が三三・五%、「自動的に」「知人の



▲ブローチや指輪など製作に熱中のママさん。手づくりの味を楽しむ「七宝焼き」(庄瀬手芸クラブ)